

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!

ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!

ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームパートナーハウスこすもす

(ユニット名) Ｃユニット

記入者(管理者)
氏名 近藤 圭子

評価完了日 平成 19 年 7 月 4 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 運営理念として ・利用者の人格と価値観の尊重 ・利用者の自己決定の尊重 ・安心と意欲の持てる自立生活の支援 ・家族、地域社会との交流と掲げている。 (外部評価) 認知症高齢者を支える事業所として、運営理念のもと、地域と交流できるよう取り組まれ、地域に事業所の意義等について発信していくことを目指しておられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関と各ユニットの見えやすい場所に理念を掲げており、取り組みを行なっている。 (外部評価) 管理者は、ミーティングやカンファレンス時、理念に基づき職員に話をされている。		地域との交流を図るために、行事などへの参加を行なっている。今後もより一層参加して行きたい。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 近隣の方々には協力していただきおりホームの存在は浸透しているが、まだまだ発信しきれていない部分があると思う。		事業所の理念や考え方をもっと地域の方々へ発信出来るよう、集会などにも出向き伝えていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域の組に入っているので、散歩などで外へ出た時には挨拶をしたり会話をしたりしてお付き合いをしている。		今後も挨拶を気をつけて行ない、気軽に立ち寄っていただけるような声掛けをもっとしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域清掃や行事など声掛けしていただいております、積極的に参加している。夏に行なう納涼祭への招待もこなっている。 (外部評価) 近隣の小、中学校と交流されており、一緒に昼食を作る等、楽しい時間を過ごされている。今年で3回目の納涼祭には、毎年、地域の方が多く訪れる。		さらに今後、地域の認知症の勉強会に出向むく等、地域の方達とかかわるような機会を増やしていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 職員同士の話し合いでは考えているが、実現出来ないのが現状である。		今後はもっと職員間で力を入れて話し合い、出来る事から取り組んでいきたい。同系列施設合同で出来ることも考えていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己・外部評価の意味・必要性を理解し、出来ていない部分は改善出来るように取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、各ユニットリーダーが職員に意見を聞き取り作成し、管理者がまとめられた。職員は、日頃のケアについて見直す機会とされ、利用者との関わり方、コミュニケーションの図り方を今後の課題とされていた。前回の評価結果を受けて、地域との交流や介護計画等、改善に取り組んでおられる。		すぐに対応出来ない事に関しては、十分に考え話し合い、早い段階で対応出来るように努力していきたい。 さらに今後も、サービス評価全体の仕組みを事業所の質の向上に活かすことができるよう取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議で出た意見の中ですぐに取り入れられることは対応している。十分に検討しなければならない事は職員同士で話し合い、早期に出来るよう前向きに取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			会議を重ねるたびに、事業所に対する地域の理解が深まってきている。災害時の訓練等について意見交換がなされた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議以外ではあまり行き来できていないのが現状である。		今後は小まめに話し合いができるように機会を作り、もっと連携を図っていきたい。
			(外部評価)		
			地域包括センターへ、事業所の取り組みや利用者の受け入れ状況等、こまめに情報を提供したいと考えておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			権利擁護やその他の制度について管理者は理解しているが、職員全員はなかなか理解できていないのが現状である。		ミーティングや勉強会などで権利擁護やその他の制度について学び、職員一人一人がきちんと理解し説明が出来るようにしていきたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			外部の研修会や勉強会に参加し虐待防止について学び、当事業所でも十分に注意をして防止に努めている。		今後も職員と共に虐待防止を徹底していきたい。地域住民の方々から相談等持ちかけられたら早期に対応出来るように協力していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、利用者・家族が十分に理解・納得出来る様分かりやすく説明している。双方確認の上、契約を結んでいる。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) いつでも意見・苦情等表せるように職員は利用者へ耳を傾け、話を聞き誠意を持って対応している。		意見・苦情等あれば管理者・職員間し同士で話し合い改善している。申し送りノートにも記入し徹底している。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月利用料の請求書を送付する際に健康状態や日常生活のことなどを書いたお手紙(こすもす便り)を同封している。金銭管理に関しては「預かり金出納帳」を作成し、レシートと共に明確にし報告している。		近況報告書等は翌月10日までに送付している。健康状態は必要に応じ随時連絡している。
			(外部評価) 毎月、個別に手書きの「こすもす便り」と写真をご家族に送付し、利用者の暮らしぶりや健康状態等について報告されている。		さらに今後、事業所全体の取り組みやご家族が知りたい情報等を提供できるようご家族への報告について工夫されてみてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 年二回の家族会の時に全体会で意見等聞いている。個別でも随時面会時等にもお聞きし、誠意を持って早期対応・対処している。入居説明時にホームの苦情相談窓口・第三者機関相談窓口(松山市介護保険課・愛媛県国保連合会介護保険課)の連絡先等も説明している。		
			(外部評価) ご家族の要望により、訪問マッサージが受けられるようになった。職員の名前と顔が覚えられないと言うご家族の声に応え、対策を検討されている。		さらに、ご家族が意見を出しやすくなるよう今後、家族アンケートを実施することを考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングや日々の話の際に職員からの意見や提案を聞き、一緒に考え協力し運営に反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況の変化や要望に対応できるように、勤務調整・時間調整を行なっている。時間外や休日勤務などで対応もしている。		急変時や職員不足の時には緊急連絡網で連絡し対応できるようにしている。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 馴染みの関係などもあるため出来る限りは控えている。時期等を考え、職員配置移動もしている。 (外部評価) これまで職員の異動があったが、現在は、落ち着いておられ、職員のチームワークで日々ケアに取り組んでおられる。ユニットのリーダーが新人職員に、利用者の人柄や生活習慣等を伝えておられる。		移動等の際は利用者にダメージが加わらないよう、十分に気を付けている。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部での勉強会や研修会への参加を促し、技術・能力向上を図っている。 (外部評価) 管理者は、学習療法士の資格を取得し、今後のケアに活かしていきたいと考えておられた。		勉強会や研修会での資料などユニットに配り、情報提供している。 今後、事業所内で利用者との関わり方等について勉強会を行いたいと考えておられた。さらなる事業所の質の向上を目指し、職員が研修を受講できるような機会を増やしていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他事業所での勉強会や研修会に参加し、情報のネットワークを作っている。同系列での運営会議で勉強会を開き、質の向上に努めている。		勉強会での資料は職員にも見てもらい、質の向上に努めている。
			(外部評価)		
		同業者との交流を通じて、サービスの質の向上に努めておられる。			
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			仕事に対する不安やストレスを少なくするため積極的に相談にのっている。		常に悩みやストレスの相談に応じている。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員一人一人の勤務実績等常に把握しており、個々の能力に応じた勉強会や研修会などへ参加を呼びかけている。		必要な知識や技術を身に付けるため研修会に参加できるようにシステムを作っている。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			初回訪問時から入居するまでにお互い連絡を取り合い、分からない事や入居するにあたり不安な事などを全てお聞きし、誠意を持って対応している。現場職員とも十分に話しをして対応策等を随時考えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初回の相談時から家族が抱えている不安や生活の悩み、求めている事をお聞きし、的確な説明やアドバイスができる様、努めている。そしてお互いの信頼関係を十分に作り上げている。いつでもお互いが連絡できるようにお伝えしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族の今の状態をよく聞き、一番困っている事について生活支援プランを提案し、一緒に考えていけるように対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人が違和感なくホームでの生活を過ごせるように、ペースを見ながら支援プラン作成を随時作成している。 (外部評価) 病院や施設からの入居がほとんどである。入居間もない方には、ご本人の趣味や得意なこと等を他の利用者に紹介し、場の雰囲気に馴染めるよう支援されている。		支援プラン作成時には家族にも説明し、協力をお願いしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員と入居者が一緒になり、できる事や得意な事を見出し、分からない所は教え合ったりして共に支えあう関係作りを行なっている。 (外部評価) 料理の味付けや素材の組み合わせ、ことわざ等について教えてもらっている。また、戦争等、貴重な体験談をつかがうこともある。		生け花、編み物、調理等を一緒に行なっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 生活状態や本人の情報などをお互いで共有しあい、面会の時などに話し合いをしている。家族の思いなども聞き、双方の関係作りに努めている。		面会時などには一緒にお食事を摂ったり、お茶を飲んだりしている。毎日一緒に食事を摂っている方もいる。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 随時相談に乗り、互いにいい関係が保てるように対応している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) いつでも気軽に面会ができる様、声掛け・雰囲気作りに努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の馴染みや関係を十分に理解して、利用者同士が支え合えるように配慮し支援している。		団樂場所もきちんと作り、共に過ごせるようにしている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 随時連絡ができるように、サービス終了後も声掛けをしたり、いつでも連絡ができる状態にいる事を本人・家族に説明している。		困ったことや悩み事がある時は一緒になって解決等考えている。万が一退去せざるを得ない状態になっても納得がいくサービス・施設をフォローアップさせてもらっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>思いや考えを伝えることができる方は意思を尊重している。困難な方は家族の意向などを聞き、本人本位に立って十分検討している。</p>		<p>入居時に今までの生活習慣や暮らし方などをお聞きして、なるべく変わらないように生活支援できるようにしている。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>センター方式のアセスメント表を採り入れられ、ご家族やご本人の思いや意向等、個々の情報の蓄積に努めておられる。</p> <p>さらに、利用者一人ひとりの情報を職員が共有し、日々のケアにつなげていくような取り組みが期待される。</p>					
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居時に本人、家族に聞き取りを行なっている。当事業所利用前に施設や病院にいた方に関してはそちらからも情報提供してもらっている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員全員で現状を把握し合い、対応・対処している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の状況を十分に把握し、一番適した支援プランを作成している。面会時などにも支援プランを説明している。なかなか支援プラン作成時に本人の参加は難しい。</p>		<p>今後プラン作成時には体調や精神面の安定等を見ながら参加してもらえるように声掛けし、職員全員の意見を取り入れ、よりよいプランになるように作成していきたい。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>利用者が安全に暮らせるよう、ご家族や職員、医療関係者の意見等に基づき、介護計画を作成されている。</p> <p>事業所では、今後、さらに、ご本人の思いや求めていることを大切にしながら、介護計画を作成していきたいと考えておられた。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月モニタリングを行い、身体面・精神面などに変化があった場合は随時支援プランの変更を行なっている。		家族や主治医・職員の意見を取り入れてプラン作成している。
			(外部評価)		
			6ヶ月毎に見直しをされている。入院や状態の変化時には、随時の見直しを行ってられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			毎日時間をおって介護記録へと記録し、日中・夜間帯にあった事を申し送りし、介護記録用紙に簡単な評価を行なっている。		「何となく」ではなく、記録に残すことにより、説得力を持ち家族に説明することができる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			随時本人や家族の状況・要望を聞き、柔軟な支援を行なっている。		
			(外部評価)		
			ご家族の結婚式にご本人とともに職員が同行される事もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防・避難訓練・マッサージ・理美容・地域行事への参加など適時・随時取り入れて支援している。		消防署立会いのものの消防・避難訓練・個別マッサージ、定期的な理美容・行事の際には、ボランティアの方に来ていただいて支援している。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じてサービス業者に入って頂き支援している。		個別でのマッサージを利用している方がいる。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 権利擁護や長期的なケアマネジメントは今のところ生じていないが、地域包括支援センターとは運営推進会議にて話をしている。		ケアマネジメント等が今後生じた場合は共働していきたい。地域包括支援センターとの連絡は運営推進会議時に話をしている。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・家族の希望する医療機関へ適時受診または往診に来ていただいている。		
			(外部評価) 利用者それぞれのかかりつけ医を受診されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 本人・家族の希望する医療機関へ適時受診または往診に来ていただいている。		認知症専門医にかかっている方もいる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 個別の身体面・精神面を見ながら看護職員と協力しながら対応している。		看護師は入居者一人一人の健康状態等常に把握し、介護職員と連携しながら介護支援・医療支援を行なっている。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には2,3日おきのペースで面会に行き、主治医や看護師と情報交換を行い、早期退院に努めている。		職員が交代で面会に行き、主治医又は看護師と話しをして情報交換をしている。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 必要に応じて家族や医療機関と連携を取り、方針を共有している。 (外部評価) 入居時、事業所の看取りの指針に基づいて、ご家族に説明をされている。その後も、機会を捉えて話し合い、ご家族の気持ちを確認されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族・主治医等で事業所の「出来る事・出来ない事」を明確にし話し合いをしている。終末期・急変時は救急車要請して対応・対処している。		個々のかかりつけ医によっては終末期・急変時受け入れ可能なかかりつけ医のところと、その日の指定救急病院対応のところとがあり、異なる部分はある。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入居前には必ず事前調査をし、日常生活レベルは医療・健康状態を把握している。退去時は移動先へ必ず情報提供所にてお伝えし、連絡している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			入居者への声掛け・対応は、十分に気をつけて対応している。個人情報の取り扱いも、鍵付きのロッカーで保管し対応している。		個人情報の取り扱いについては、「秘密保持に関する契約書」を入職時全員に説明し、文書としてとっている。入居者に対して言葉掛けがきつくなった時にはきちんと誠意を持って謝罪している。
			(外部評価)		
			否定的な言葉を出来る限り用いず、利用者を人生の先輩として尊敬して支援するよう心がけておられる。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			職員から働きかけ、入居者が希望を出せるようにしている。		入居者が遠慮し希望を出せない事が無いよう、雰囲気づくりに配慮している。
			(外部評価)		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			入居者の希望も取り入れながら、日中活動を実施するなどし対応している。		現在、まずは職員主導で日中活動を模索中であるが、できる限りその中で入居者が選択できる方法をとっている。
			(外部評価)		
			調査訪問時の昼食後、利用者はそれぞれに居室で横になられたり、テレビを見たり、新聞を読んだりされていた。喫煙室でたばこを吸っている方もおられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 自分で整容が出来ない方は、職員が介助し対応。		現在、訪問美容にて対応。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事中も、会話の機会を持つようにし、楽しく食事ができるよう心がけている。また、入居者のレベルに合わせ、できる方は準備・後片付けをしている。		全ての入居者が楽しみながら食事が出来ているとはいえない面がある。今後、検討が必要。
			(外部評価) 新鮮な食材を使用して調理されている。利用者が菜園で育てたトマトが、食卓に上っているユニットもあった。		さらに、一人ひとりの力を活かしながら、和やかに食事を楽しむことができるような支援について、さらなる工夫を重ねていかれることが期待される。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙希望者には、喫煙所を設け、対応している。また飲酒も、希望者には、行事の際などに飲酒できるよう配慮している。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄リズムに合わせ、プライバシーの保護に努めながら支援している。		例えば、職員が介助時に着替えや下用タオルを取りに行く際、周りの入居者に分からないよう(本人の羞恥心に配慮する)対応する事が必要。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			体調や入居者の希望にあわせ、少なくとも最低週2回の入浴を実施。		共同生活であり、どうしても希望の時間の入浴が難しい場合が生じる。こうした場合に入居者が納得できる対応が必要。
			(外部評価)		
			入浴中に職員は、ご本人の昔話にゆっくり耳を傾けておられる。入浴を嫌がられる方には、時間をおいて声かけされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			本人のペースに合わせ、安眠できるよう、必要であればケアプランに取り入れ対応している。		夜間のみならず、日中から安眠できる対応を考える事も必要。(ケアプランにも取り入れ)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			入居者のレベルや生活歴等を考慮し、日中活動を実施し支援している。		全ての入居者が満足しているとはいえない面がある(認知症のレベルによって、対応が困難等)今後、検討が必要。
			(外部評価)		
			野菜作りや洗濯、将棋をされたり、テレビや新聞、週刊誌を楽しみにされている。利用者は、大正琴の演奏を文化の日に発表するために練習に励んでおられた。		今後さらに、利用者一人ひとりが生活歴や得意なことを活かした取り組みが期待される。ご家族の意見もうかがいながら、支援されることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金を使える、または少額のみ自分で管理可能な方は、日常的に支援している。		日常的にはお金を使用していない方も、買い物の機会をつくり、できるだけ自分で品物を選び、支払いも介助しながらできるように支援している。(今後、買い物の回数を増やしたい)

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			体調や天候に合わせ、外出できる機会を作っている。		本当は参加したいが、遠慮したり、体調不良等で参加できなかった入居者に対し、後日個別に出かけるなどの工夫をすることが必要。
			(外部評価)		
			散歩や近所のコンビニに買い物に出かけられたり、9月にはブドウ狩りを楽しまれる予定となっていた。ご家族との外出を心待ちにしている方もおられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			お墓参り等、ご家族に協力して頂ける方に関しては実施している(あくまで本人側からの申し出による)		例として、個別に温泉行きを希望されている入居者がいるため、定期的の実施できるよう配慮したい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望する入居者には、支援できている(主に自宅への電話)		今後、入居者の希望があれば、家族等に年賀状や書中見舞いなどやり取りができるよう支援していきたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時間は特に定めておらず、自由に訪問していただき、ホールや個別の部屋でゆっくりお話ができる様、環境整備している。		来訪者にはおもてなしをし、お菓子やお茶などをお出ししている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 現在、身体拘束はしていない。マニュアル作成はしている。		日中・夜間共、二時間おきの巡視以外にも、小まめな巡視等により、拘束せず生活できるよう対応している。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 現在、日中施錠はしていない。		徘徊のある入居者に対しては、職員が付き添うなどし、鍵を掛けなくても済むよう対応している。
			(外部評価) 日中、玄関は開放されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は常時見守りをし、夜間は二時間毎随時巡視をおこなっている。		特に、徘徊等により、他室へ誤って入り、トラブルになる恐れのある入居者に関しては、ケアプランにも取り入れ対応している。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 必要があれば、家族に説明・同意を得た上で実施している。		管理が必要な場合であっても、該当する居室内等、家庭的な雰囲気が出せるよう配慮している。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) マニュアル作成をしたり、ミーティング時に説明をしている。個々の行動や状態の観察も行なっている。防火・避難訓練もしている。		事務所内にてマニュアルを保管し、職員がいつでも見ることができるようになっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員の中には応急処置の講習会に参加し資格を持っている者もいるが、全員ではない。急変時、事故発生時のマニュアルを作成している。		定期的講習会等受けていないので、今後は定期的に実施していきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 防火・避難訓練を実施している。運営推進会議の際に町内会との連携体制を確認している。 (外部評価) 夜間を想定した避難訓練を行い、誘導方法や避難経路等について実践、確認された。日頃から、喫煙室の管理等、防火点検を心がけておられる。		年2回、防火・避難訓練の実施。運営推進会議にて結果報告など行なっている。地域の方々による協力体制の話し合いなどもしている。 今後、地域の人達と合同の避難訓練の実施を検討されていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 特にリスクが考えられる入居者に関しては、ケアプランにも取り入れ、その都度家族にも説明し対応している。		主治医・家族・管理者・リーダー・看護職員で話し合いを行なっている。ホームにとってのリスク回避なのか、本当に入居者にとっての対策なのか、判断が難しい場合もあるが、それによって抑圧感等がないよう心がけている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを実施し、異変時には看護師・家族とも相談の上、通院等による対応をとっている。		日中・夜間共連絡体制をとっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 入居者全員の情報が分かるよう、ファイルに綴じ分かるようにしている。		特に、薬の変更時には、情報の共有が徹底できるよう、申し送り等を徹底している。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給の徹底や、生活リズムを整える等の工夫をしている。		必要であれば、主治医の指示により、下剤による対応をとっている。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 支援が必要であるが、本人拒否により実施できていない入居者がいるため、検討が必要。		無理に毎食後行なうのではなく、例として、1日一回、入浴時に行うなどし、工夫して対応している。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の食事量・水分量は把握できているが、栄養バランスはきちんとは計算していないため、把握は難しい。 (外部評価) 一汁三菜を基本に献立を立てておられる。食事制限が必要な方には、ご飯の量を減らしたりお汁を塩分を薄目にされている。水分は、一日に1500cc程度、摂取できるようすすめておられる。		必要な方は、主治医の指示のもと、栄養補給飲料を使用し対応している。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染予防マニュアルを作成し、実施している。手すりやテーブル等を消毒したり、毎回手洗いも行なっている。		手袋やナイロンエプロン(使い捨て)を使用。外部からの感染予防として玄関に消毒剤を設置し、文章ひ玄関戸に貼りお願いをしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>魚と肉は毎日配達してもらっている。野菜類は前日購入。食器は手洗い洗浄後、食洗機で乾燥させている。まな板・包丁・台拭きは毎日夜勤者が消毒を行なっている。</p>		<p>台所をいつも清潔な状態に保っている。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関はいつも開放しており、なおかつ家庭的な雰囲気になるよう心がけている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有空間は、家庭的な雰囲気になるよう、心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関には季節の花が生けられ、金魚を飼われていた。居間の壁には利用者と職員手作りのひまわりの花や行事の際の写真が飾られていた。畳のコーナーには、オルガンが置かれていた。</p>		<p>入居者の希望により、生け花を欠かさず置くようにしている。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者が過ごしやすいような雰囲気づくりを心がけている。</p>		<p>例として、入居者同士の関係にも配慮しながら、食事の席やソファの位置など工夫をしている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)			
				入居時に、家族に極力新しい物ではなく、本人が使い慣れた物を用意していただけるよう伝えている。		認知症の症状により、どうしても危険が伴うと考えられる物を居室に置けない入居者に関しても、出来るだけ家庭的な雰囲気を出せるよう、工夫をしている。
			(外部評価)			
			居室には、使い慣れた家具や大型テレビ、冷蔵庫等を持ち込まれている方がおられた。奥様のお写真やカレンダー等も貼っておられた。			
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)			
				毎日の清掃時・また一日の中で数回換気を行い、温度調節も、入居者に合わせている。		室温調整は入居者の年齢や体調に考慮している。また、特にトイレ使用後の換気には注意を配っている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)			
				廊下・ホール部分には全て手すりを付けている。トイレも3カ所の内、1カ所は広めに作っており手すりも自由に上げ下げできるようにしている。		浴室にも手すりを設置している。現在施設内で1カ所、昇降浴の機会を設置するよう検討している。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)			
				本人の残存機能等の把握をし、できるだけ自分の力で生活できるよう工夫をしている。		例として、食事作りなど、入居者ができるところを考慮し、生きがいのもてる生活作りにしていきたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)			
				入居者の希望により、ベランダで花の栽培を行なうなどしている。		今後、もっと活用できるよう検討したい。また夏には芝生でそうめん流しをしたり、駐車場でバーベキューをする楽しんでいる。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃より、日常生活上での関わりの中で、できるだけ入居者とコミュニケーションを図り、思いや願い、意向を把握できるよう努力している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後、すぐに後片付けに取り掛かるのではなく、会話できる機会を持つようにしている。また、おやつの際にも同様の対応を取っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	起床や食事・入浴時間等、時間を決めず、入居者一人ひとりのペースに合わせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日中活動の実施や、例えば入居者の若い頃の話や得意な分野の話をする事により、入居者が生き生きとしたり、また新しい発見をするきっかけとなってる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望者は、例として買い物等に出かける事ができるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック、また、必要であればケアプランに取り入れるなどし、不安なく過ごせる事ができるよう支援している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全ての入居者、また場合とはいえませんが、柔軟に支援できるよう働きかけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	本来、グループホームの業務として、対応可能な相談内容等に関しては、誠意を持って支援し、また信頼関係ができていと思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	比較的自由に訪問できるよう対応している。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議のお陰で今まで以上に地域住民の方々や関係者の方々とも繋がりが少しずつ広まってきており、理解・応援して下さっている。
98	職員は、生き生きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	可能な部分は、ユニットリーダーが、他の職員に業務を任せてしまう事により、生き生きと働く事ができる要素になってきているのではないかと感じている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	判断するのは難しいが、満足して頂けるように日々努力をしていきたいと思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	現在のところ、家族と接する限りは、概ね満足しているのではないかとと思うが、更に日々努力をしていきたいと思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

特に何かに力を入れるというのではなく、認知症であっても、最後まで本人が自分らしく生活できるよう、当たり前の事が普通にできるよう支援していきたいと考えている。ただし、個々に合わせるのが原則ではあるが、共同生活であることは理解して頂けるよう対応している。